

株式会社 共和コーポレーション

2019年3月期 第2四半期決算説明会資料

2018年12月5日



I. 会社概要



| | |
|------|---|
| 社名 | 株式会社共和コーポレーション 英文表記：Kyowa Corporation |
| 本社 | 長野県長野市若里三丁目10番28号 |
| 代表者 | 代表取締役社長 宮本 和彦 |
| 設立 | 1986年5月 |
| 資本金 | 693百万円 |
| 従業員数 | 522名 (2018年9月30日現在、アルバイトスタッフ含む) |
| 事業内容 | アミューズメント施設運営事業 アミューズメント機器販売事業 その他事業 |

信越・関東エリアを中心とした**出店**と**M&A**により**業容を拡大し成長**

アミューズメント施設の出店加速

| | |
|-------|---------------------------|
| 2002年 | 石川県の第1号店舗 |
| 2003年 | 長野県伊那市にゲームとバッティングの複合店第1号店 |
| 2003年 | 茨城県の第1号店舗 |
| 2006年 | 富山県の第1号店舗 |
| 2007年 | 山形県の第1号店舗 |

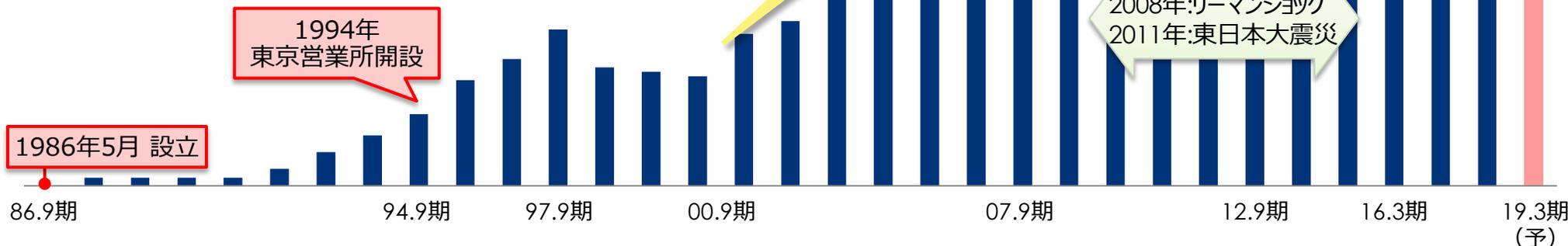
M&Aによる規模拡大

| | |
|-------|--|
| 2012年 | アルピコ興業(株)よりボウリング事業を譲り受け |
| 2015年 | (株)Y A Zアミューズメントの全株式を取得し、完全子会社化(連結子会社) |
| 2016年 | (株)シティエンタテインメントの全株式を取得し、完全子会社化(連結子会社) |

決算期変更のため18か月決算

2008年:リーマンショック
2011年:東日本大震災

売上高の推移 (億円)



機器販売が主力

第1次成長期

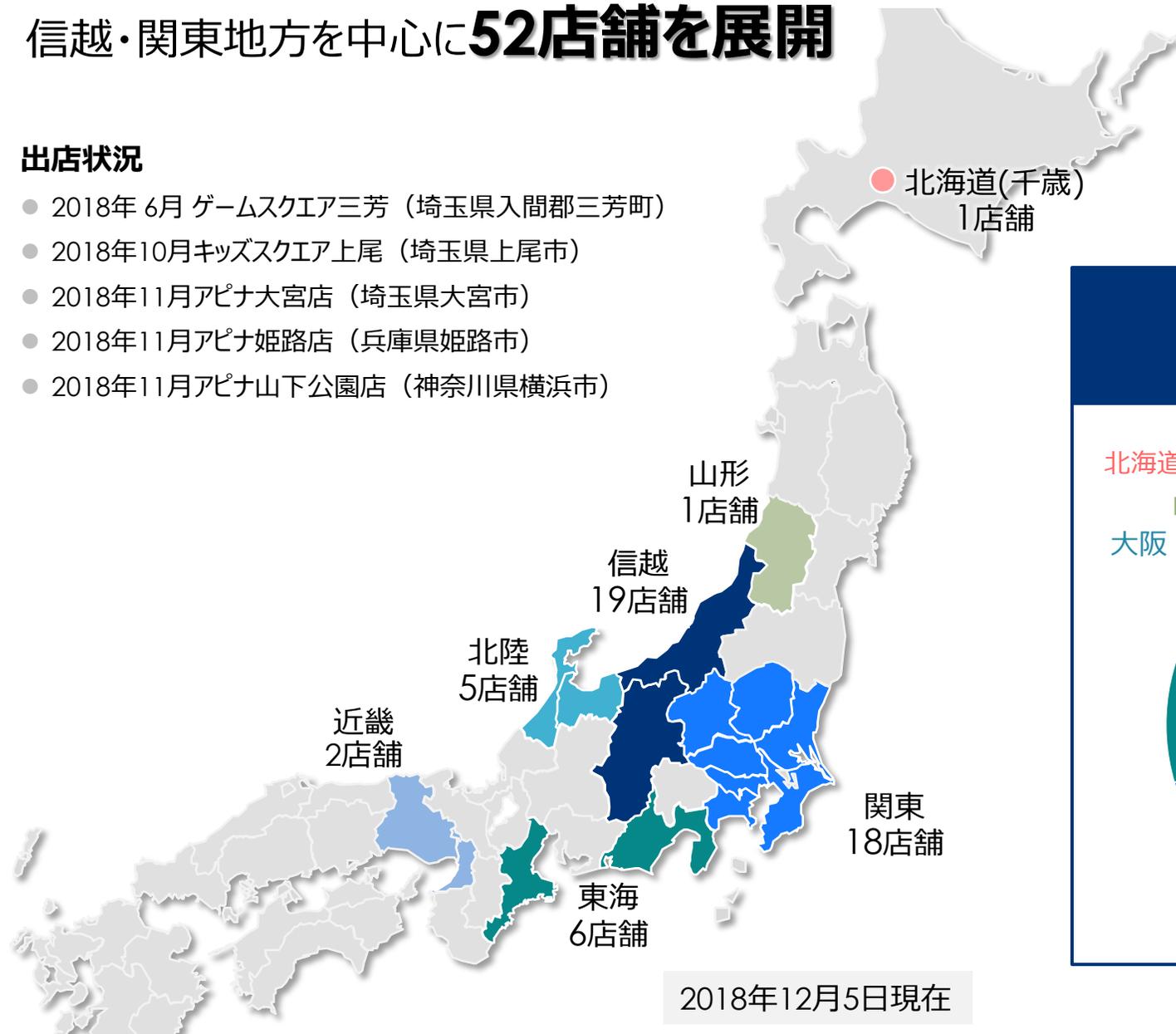
第2次成長期

※15年3月期までは単体、16年3月期以降は連結。
※14年3月期までは9月決算、15年3月期は3月決算。

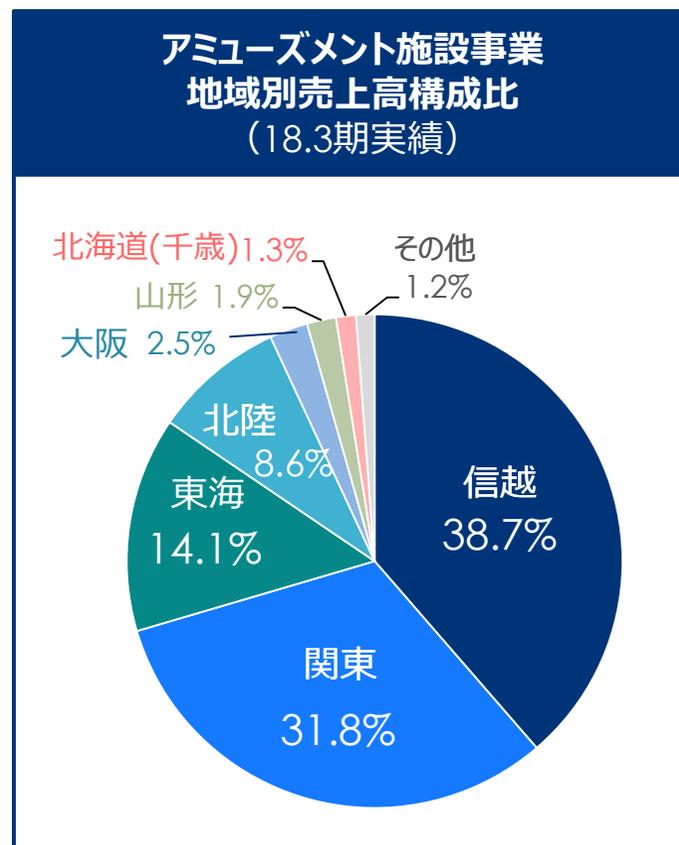
信越・関東地方を中心に**52店舗**を展開

出店状況

- 2018年 6月 ゲームスクエア三芳（埼玉県入間郡三芳町）
- 2018年10月キッズスクエア上尾（埼玉県上尾市）
- 2018年11月アピナ大宮店（埼玉県大宮市）
- 2018年11月アピナ姫路店（兵庫県姫路店）
- 2018年11月アピナ山下公園店（神奈川県横浜市）



2018年12月5日現在



アミューズメント機器販売事業

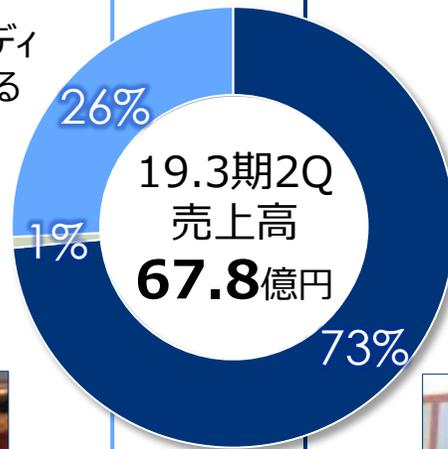
新品・中古品の
アミューズメント機器および景品の販売

- ◆ 創業以来、アミューズメント機器のディストリビューターとして販売を手掛ける
- ◆ 独立系の利点を生かし、系列の枠を超えたメーカーと取引
- ◆ 店舗運営支援等のトータルサービスを実施



その他事業

総合広告業 ほか



アミューズメント施設運営事業

3ブランドのアミューズメント施設の運営

- ◆ 信越・関東エリアを核に全国に52店舗※を展開
- ◆ 3ブランド「APINA(アピナ)」・「YAZ(ヤズ)」・「GAMECITY(ゲームシティ)」
- ◆ アミューズメント、ボウリング、バッティングセンターなど複数の業態

APINA



APINA(アピナ)

YAZ



YAZ(ヤズ)

GAMECITY



GAMECITY(ゲームシティ)



▲ボウリング



▲バッティングセンター

※2018年12月5日現在

Ⅱ. 2019年3月期 第2Q決算概要



- 第2四半期売上高は6,783百万円で計画を上回る
- 計画通りの出店を完了
 - ゲームスクエア三芳（埼玉県入間郡三芳町）
- 北海道胆振東部地震によりアピナ新千歳空港店が21日間営業を見合わせ、影響は△6,200千円あったが計画に対する影響は軽微

2019年3月期第2Q業績

(百万円)

| | 2019.3期 2Q | | | 計画比 |
|------------------|------------|-------|-------|--------|
| | 計画 | 実績 | 構成比 | |
| 売上高 | 6,524 | 6,783 | — | 104.0% |
| 売上総利益 | 2,953 | 2,974 | 43.9% | 100.7% |
| 営業利益 | 297 | 289 | 4.3% | 97.3% |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 197 | 213 | 3.1% | 108.1% |
| 1株当たり四半期純利益(円) | 33.89 | 36.64 | — | |

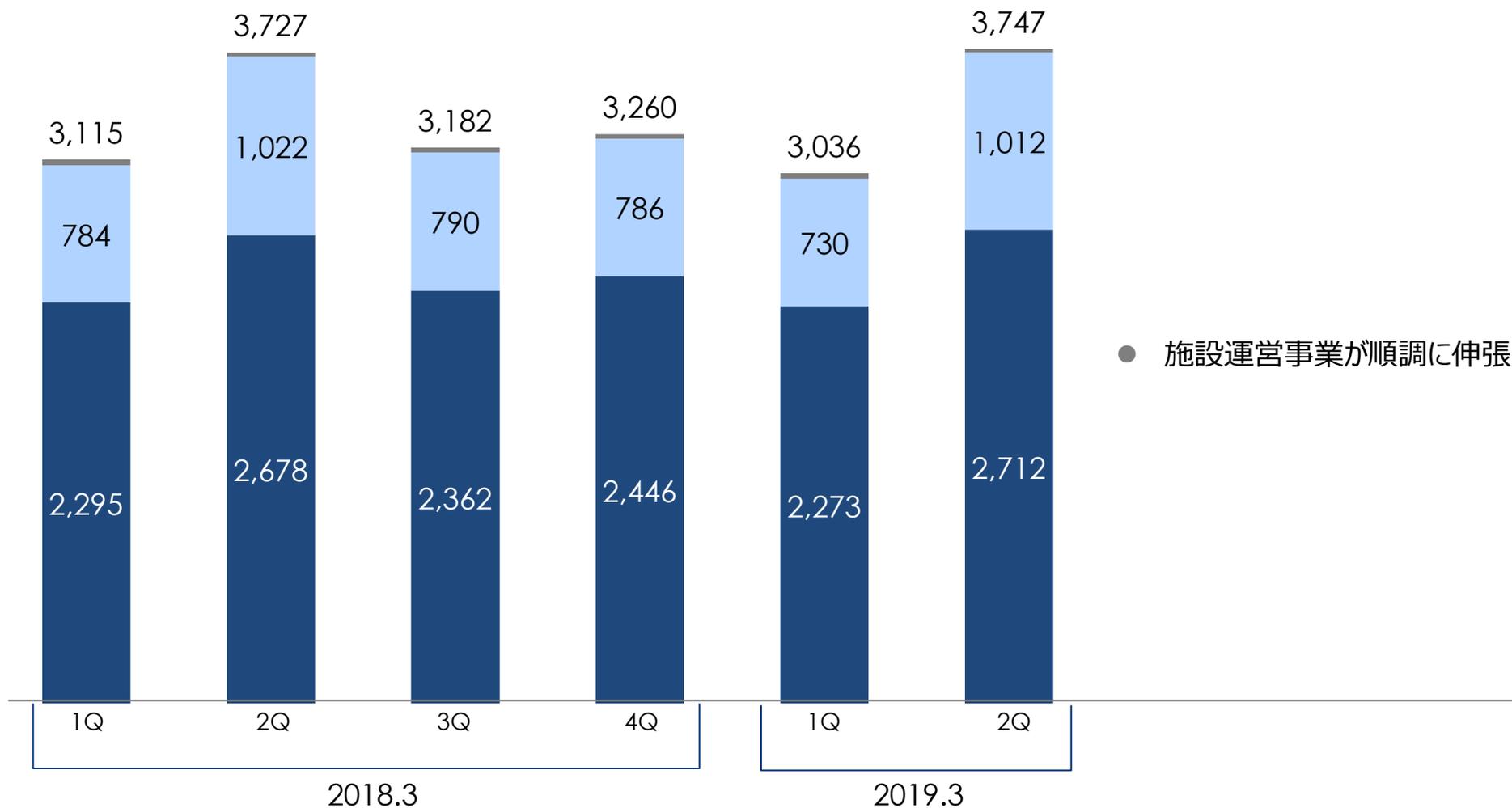
- アピナ新千歳空港店が21日間の営業見合わせの影響△6,200千円あったが、計画に対する影響は軽微
- 減益要因は支払手数料10百万円

※当社は、2018年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
1株当たり指標は当該株式分割を考慮した額を記載しております。

四半期の売上推移

■ 施設運営 ■ 機器販売 ■ その他

(百万円)



● 施設運営事業が順調に伸張

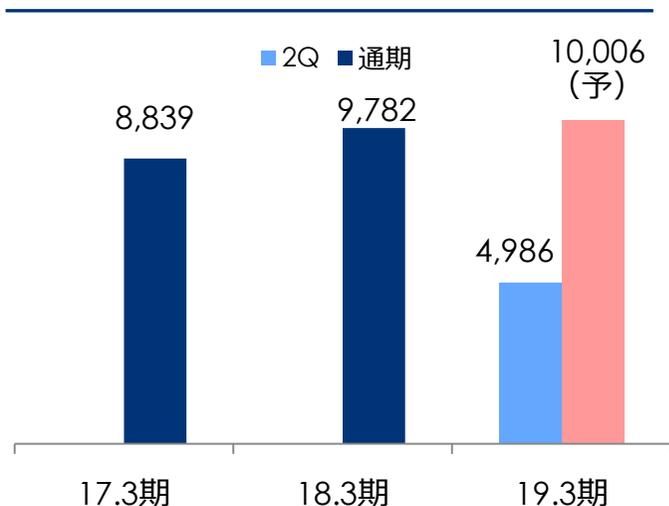
アミューズメント施設運営 (セグメント別の状況)

- SNSを利用した来店促進策により、景品ゲーム機の稼働が向上
- 1店舗を新規出店 (ゲームスクエア三芳)
- 2018年9月に「ネットキャッチャー@pina」をクローズ

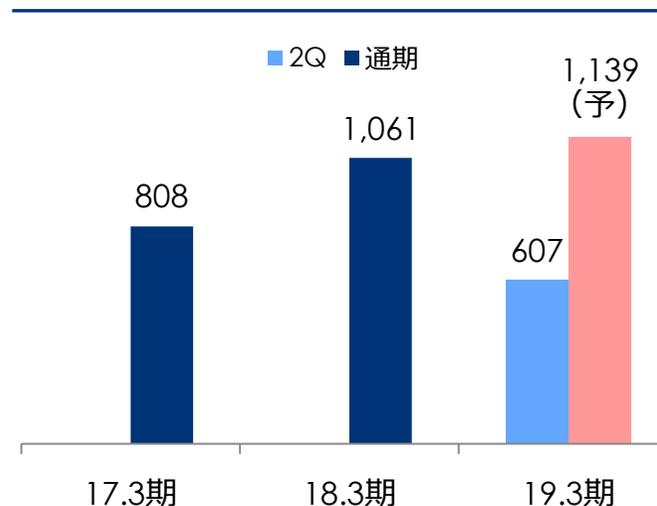
(百万円)

| | 2019.3期 2Q | 前年同期比 | |
|------|---------------|-------------|------|
| | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 4,986 | 13 | 0.3% |
| 営業利益 | 607 | - | - |
| 店舗数 | 49 | 0 (出店1、閉鎖1) | - |

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



ゲームスクエア三芳



【概要】

- 所在地 埼玉県入間郡三芳町大字藤久保字北新埜 855-403
アクロスプラザ三芳 2 階
- 面積 291.42m²
- オープン日 平成30年6月9日
- 店舗立地 複合商業施設

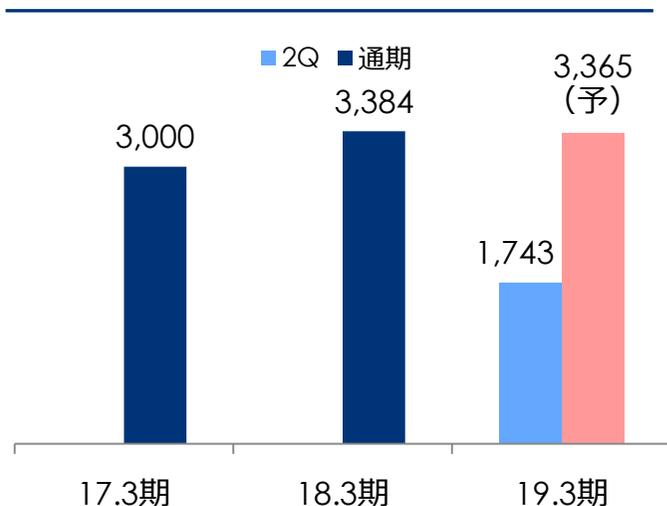
アミューズメント機器販売 (セグメント別の状況)

- 得意先への継続的な販売を行うとともに、新規取引先の獲得を積極的に推進
- 中古アミューズメント機器およびアミューズメント景品の販売に注力した結果、新製品及び中古機器の販売が増加

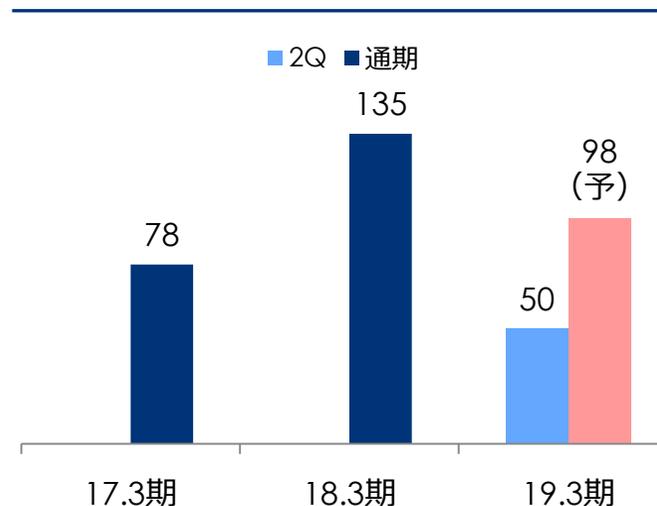
(百万円)

| | 2019.3期 2Q | 前期比 | |
|------|---------------|-----|-------|
| | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 1,743 | △64 | △3.5% |
| 営業利益 | 50 | - | - |

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



連結貸借対照表

(百万円)

| | 2018.3期 | 2019.3期 2Q | 増減額 | 要 因 |
|----------|---------|---------------|-------|---|
| 流動資産 | 5,096 | 5,065 | △ 30 | 現金預金25、営業債権△57、商品△69 繰延税金資産△48、未収入金73 |
| 固定資産 | 5,874 | 5,901 | 26 | 有形固定資産△108、投資有価証券△31 繰延税金資産55、敷金保証金140 |
| 総資産 | 10,971 | 10,967 | △ 3 | |
| 流動負債 | 4,162 | 3,559 | △ 603 | 営業債務△99、未払金△237 社債△200、1年以内返済の借入金△36 |
| 固定負債 | 3,503 | 4,010 | 507 | 長期借入金482 資産除去債務22 |
| 負債合計 | 7,665 | 7,569 | △ 96 | |
| 純資産合計 | 3,305 | 3,398 | 92 | |
| 負債・純資産合計 | 10,971 | 10,967 | △ 3 | |

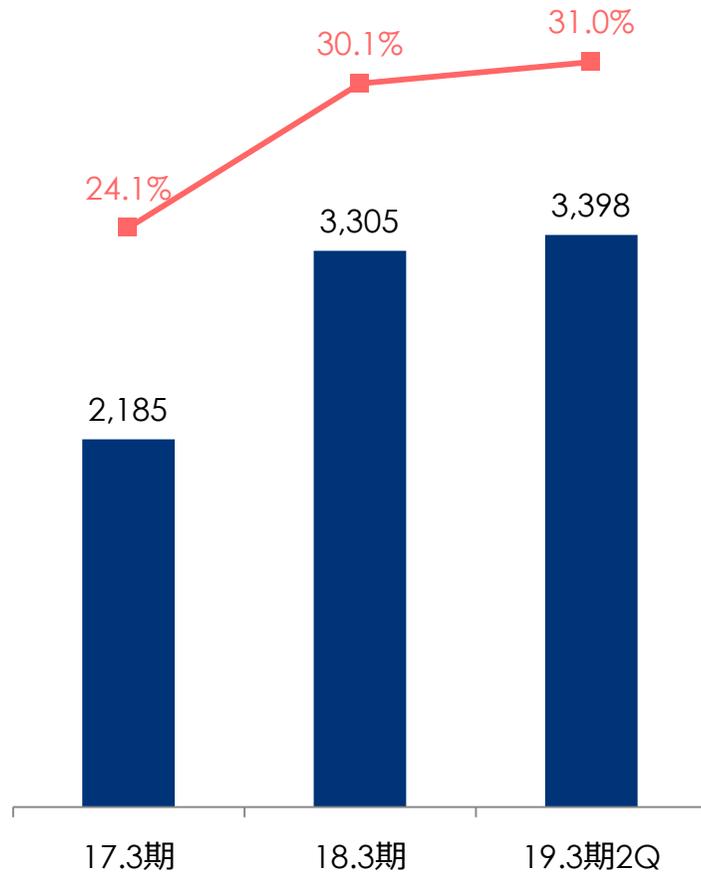
(百万円)

| | 2019.3期 2Q | 要 因 |
|----------------------|---------------|--|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 754 | 税金等調整前四半期純利益340百万円 減価償却費574百万円 法人税等の支払額151百万円 など |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △840 | 定期預金の払戻による収入454百万円 定期預金の預入による支出478百万円 有形固定資産の取得による支出625百万円 事業譲受による支出145百万円 など |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | 87 | 長期借入れによる収入1,200百万円 長期借入金の返済による支出753百万円 社債の償還による支出200百万円 など |
| 現金及び現金同等物の 期末残高 | 3,234 | |

自己資本比率/設備投資額/減価償却費

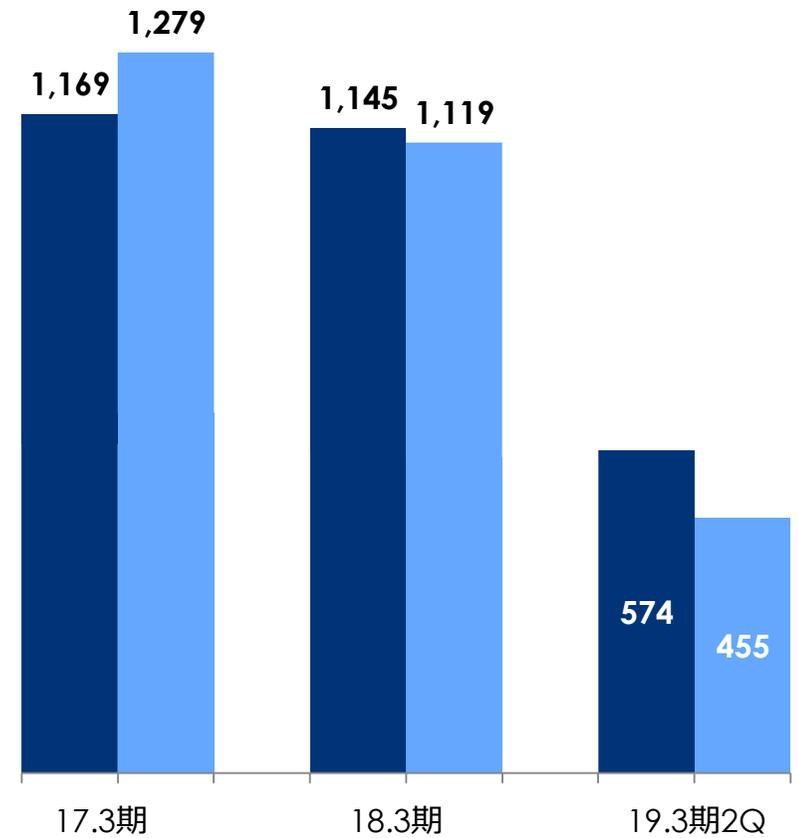
純資産額/自己資本比率

■ 純資産額 ■ 自己資本比率

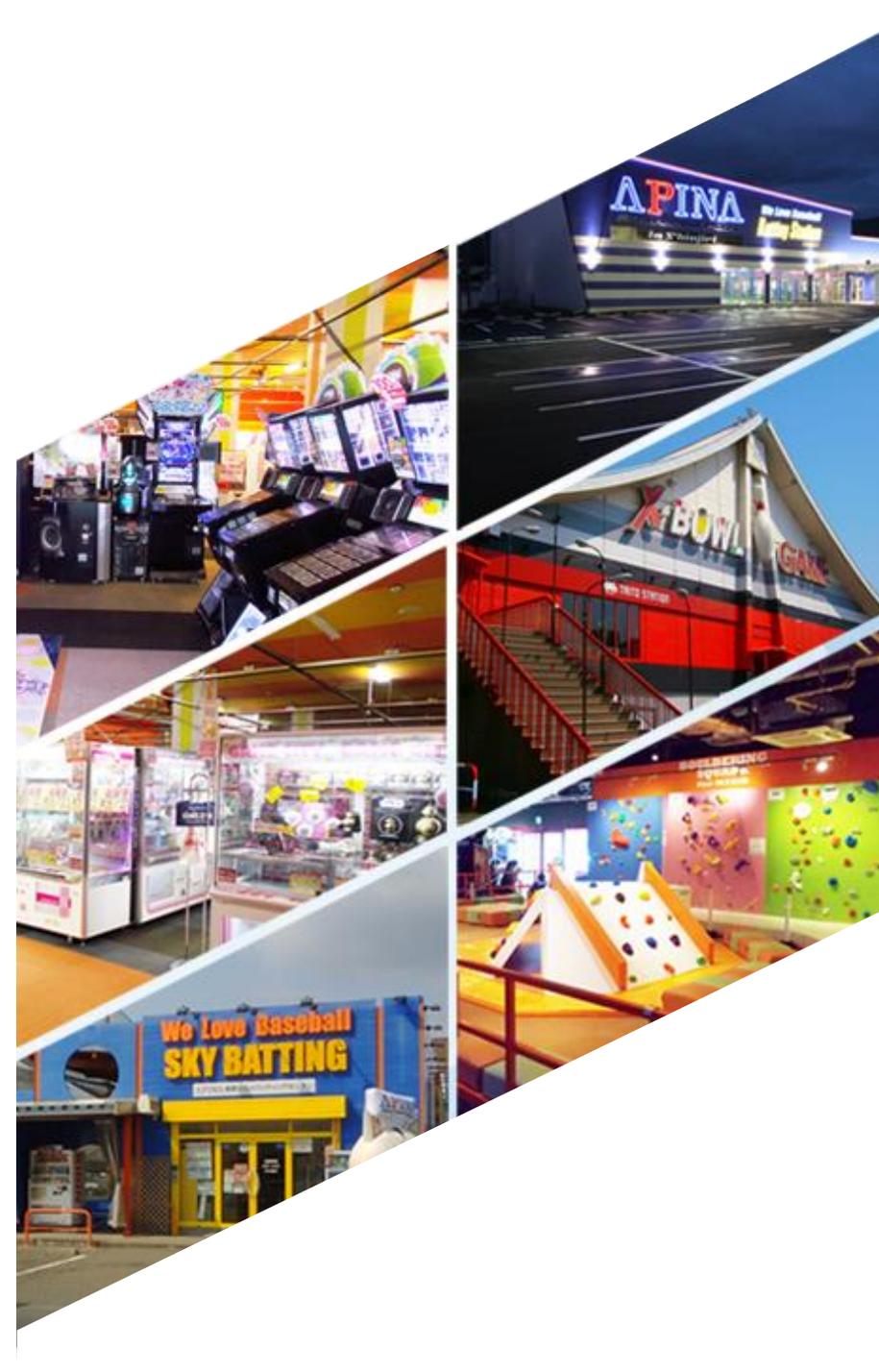


減価償却費/設備投資額

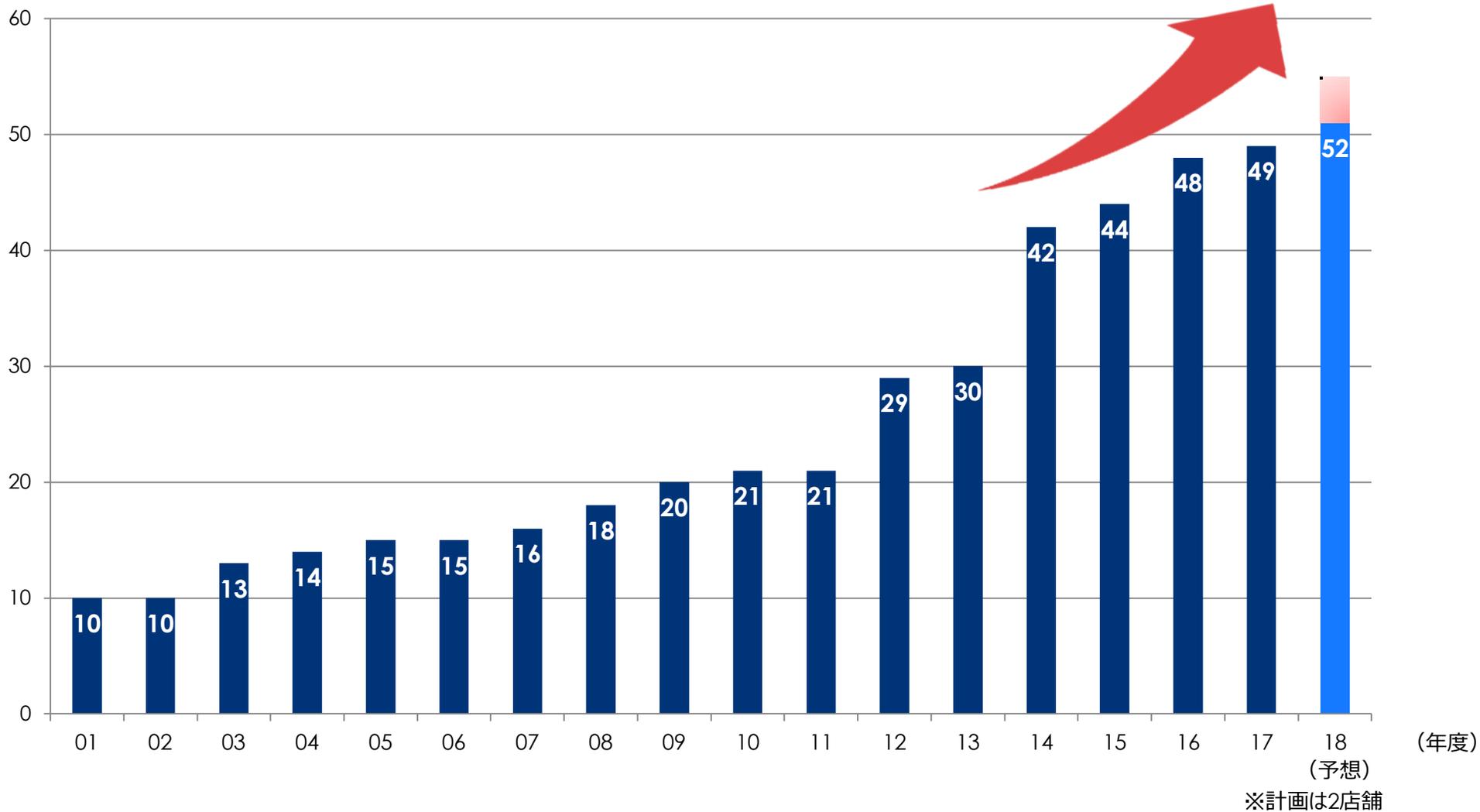
■ 減価償却費 ■ 設備投資額



Ⅱ. 今後の取り組み



継続的な新規出店に加えM&Aを積極化させ、**早期に100店舗体制へ**



① キッズスクエア上尾



【概要】

- 所在地 埼玉県上尾市緑丘3丁目3番11-2
- 面積 491.50㎡
- オープン日 平成30年10月1日
- 店舗立地 ショッピングセンター

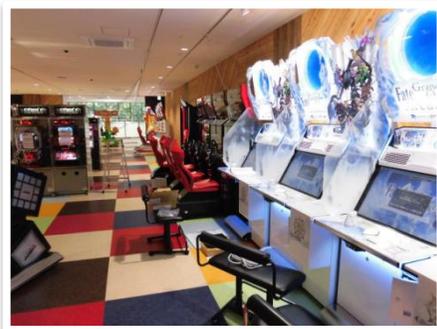
② アピナ大宮店



【概要】

- 所在地 埼玉県さいたま市大宮区仲町 1-19
- 面積 834.17㎡
- オープン日 平成30年11月8日
- 店舗立地 駅前、繁華街

③ アピナ山下公園店



【概要】

- 所在地 神奈川県横浜市中区新山下 1-2-8 港山下ナナイロビル 2階
- 面積 926.02㎡
- オープン日 平成30年11月22日
- 店舗立地 ショッピングセンター

④ アピナ姫路店



【概要】

- 所在地 兵庫県姫路市東郷町 1454-3 姫路リオス 2階
- 面積 2240.02㎡
- オープン日 平成30年11月17日
- 店舗立地 複合商業施設

ロードサイドを主軸に、SCや繁華街へも**展開**

- ◆ スピーディなM & Aにより、出店を加速
- ◆ 店舗網の一層の充実と立地のバランス改善により、効率的な運営を目指す
 - ・ 主にロードサイド店を基本として展開
 - ・ ショッピングセンターをはじめとした複合施設内や駅前、繁華街ロケーションへの出店

M&A等の実績

| | |
|----------|---------------------------------------|
| 2012年2月 | アルピコ興業(株)よりボウリング事業を譲り受け |
| 2014年2月 | ガロパ上尾店を譲り受け、APINA上尾店を出店 |
| 2014年3月 | ガロパ橋本店を譲り受け、APINA橋本店を出店 |
| 2015年3月 | (株)YAZアミューズメントの全株式を取得し、完全子会社化(連結子会社) |
| 2015年7月 | KISS長野店を譲り受け、YAZ長野店(現アピナ長野駅前店)を出店 |
| 2015年10月 | 「タイトーフステーション松本店」のフランチャイズ運営開始 |
| 2016年6月 | (株)シティエンタテインメントの全株式を取得し、完全子会社化(連結子会社) |
| 2018年8月 | キャロム大宮店を譲り受け、APINA大宮店を出店 |

立地ポートフォリオ



長野県eスポーツ協会と連携し、長野県内におけるeスポーツの発展を支援

直営店舗を使用してイベントに協賛するほか、プロを目指すプレイヤーへ会場を提供



11月に当社アピナ松本店で行われたeスポーツイベント「2018 第一回 APINA CUP」の様子

当社の活動実績と今後の予定

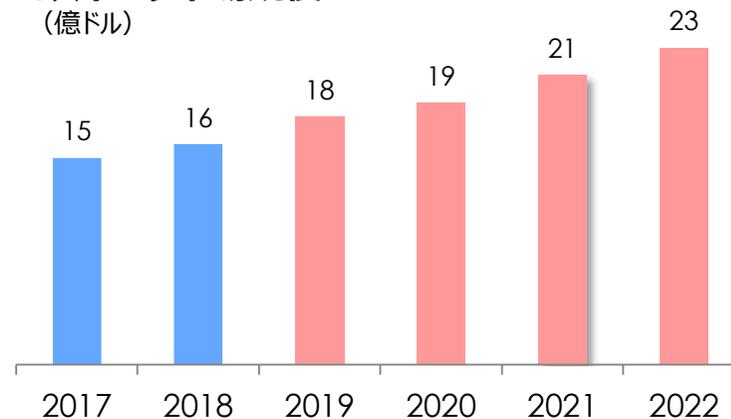
- 9/22 【eコミュ長野】AGスクエア岡谷 大会視察
- 9/23 東京ゲームショー e-sportsX(クロス)SFV大会視察
- 9/25 【長野県eスポーツ協会】第1回打合せ
- 10/14 【長野県eスポーツ協会】SFV & CoD大会@長野市
- 10/24 【長野県eスポーツ協会】第2回打合せ
- 10/31 【長野県eスポーツ協会】第3回打合せ（長野放送参加）
- 11/17 アピナ松本店 店舗大会（GGXrd、シャドウバース交流会）

今後も継続的に共催イベントを実施していく予定

eスポーツとは？

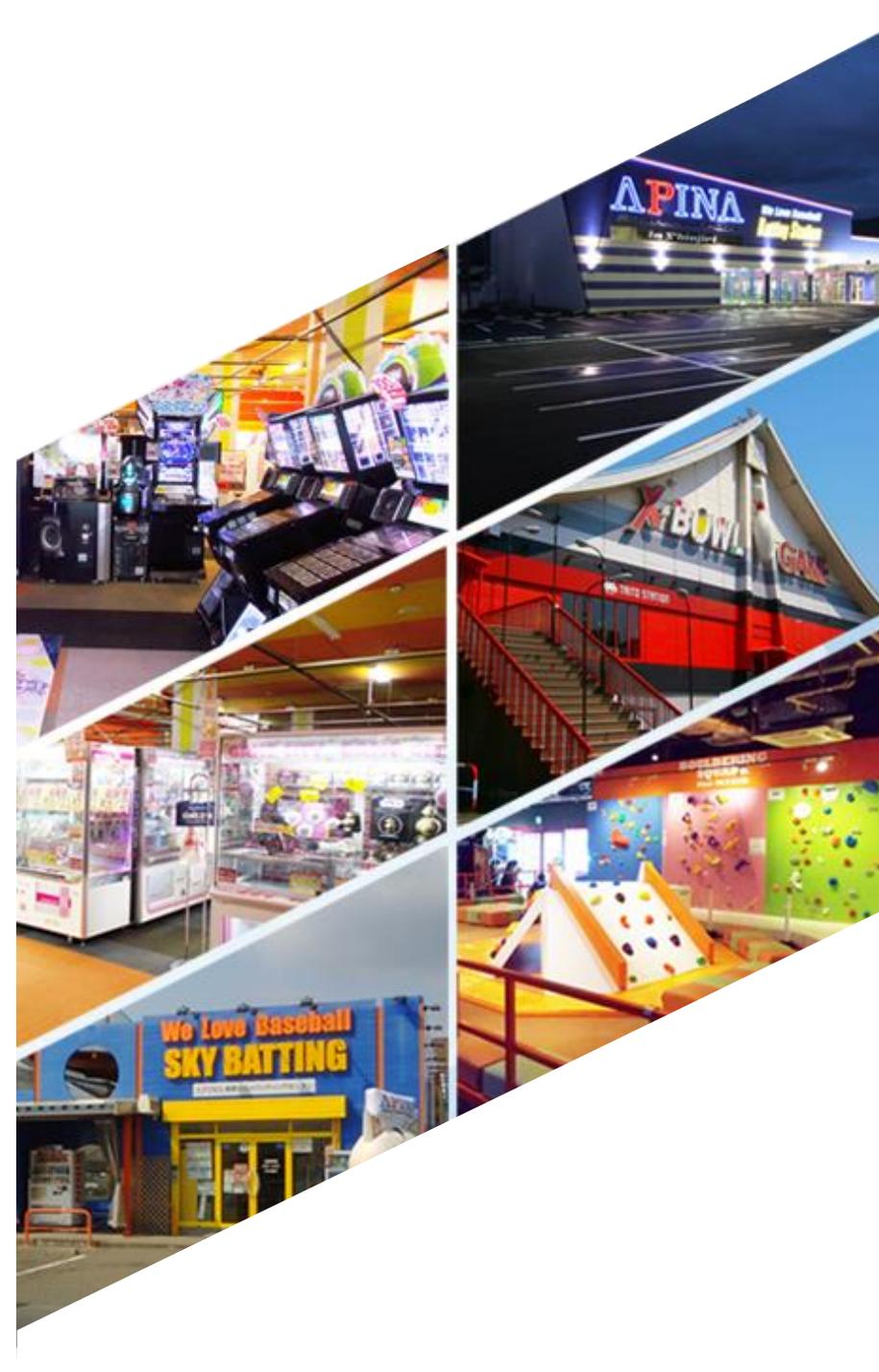
コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。アメリカではすでに、「プロゲーマー」が「スポーツ選手」として認められており、韓国や中国の市場規模は日本とは桁違いに大きくなっている。

eスポーツ市場規模 (億ドル)



出典: 2017 Super Data Research

Ⅲ. 2019年3月期 通期業績予想

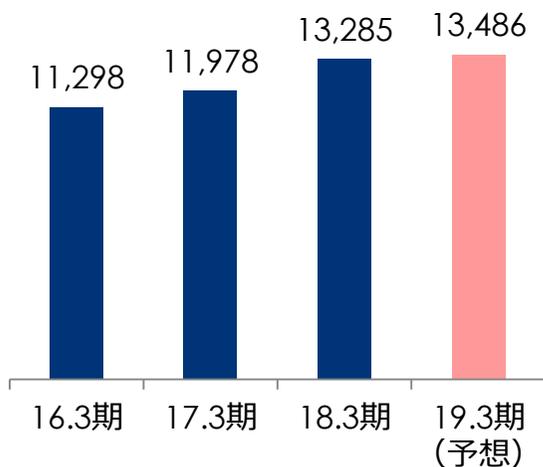


2019年3月期 業績予想

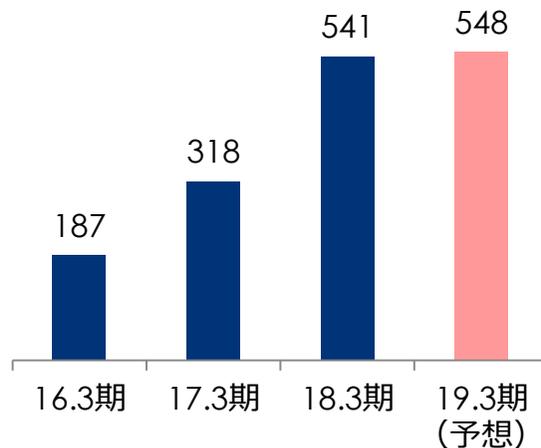
(百万円)

| | 2018.3期 実績 | | 2019.3期 予想 | | 前期比 | |
|---------------------|---------------|--------|---------------|--------|-------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 13,285 | 100.0% | 13,486 | 100.0% | 201 | 1.5% |
| 営業利益 | 541 | 4.1% | 548 | 4.1% | 7 | 1.2% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 322 | 2.4% | 369 | 2.7% | 47 | 14.7% |
| 1株当たり当期純利益 (円) | 67.60 | - | 63.44 | - | △4.16 | - |
| 店舗数 | 49 | - | 52 | - | - | - |

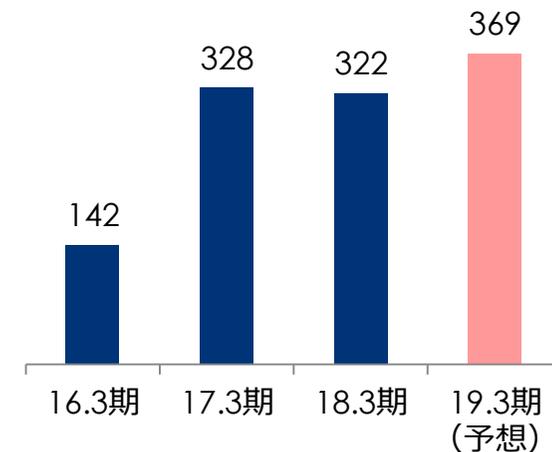
売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



親会社株主に帰属する
当期純利益 (百万円)



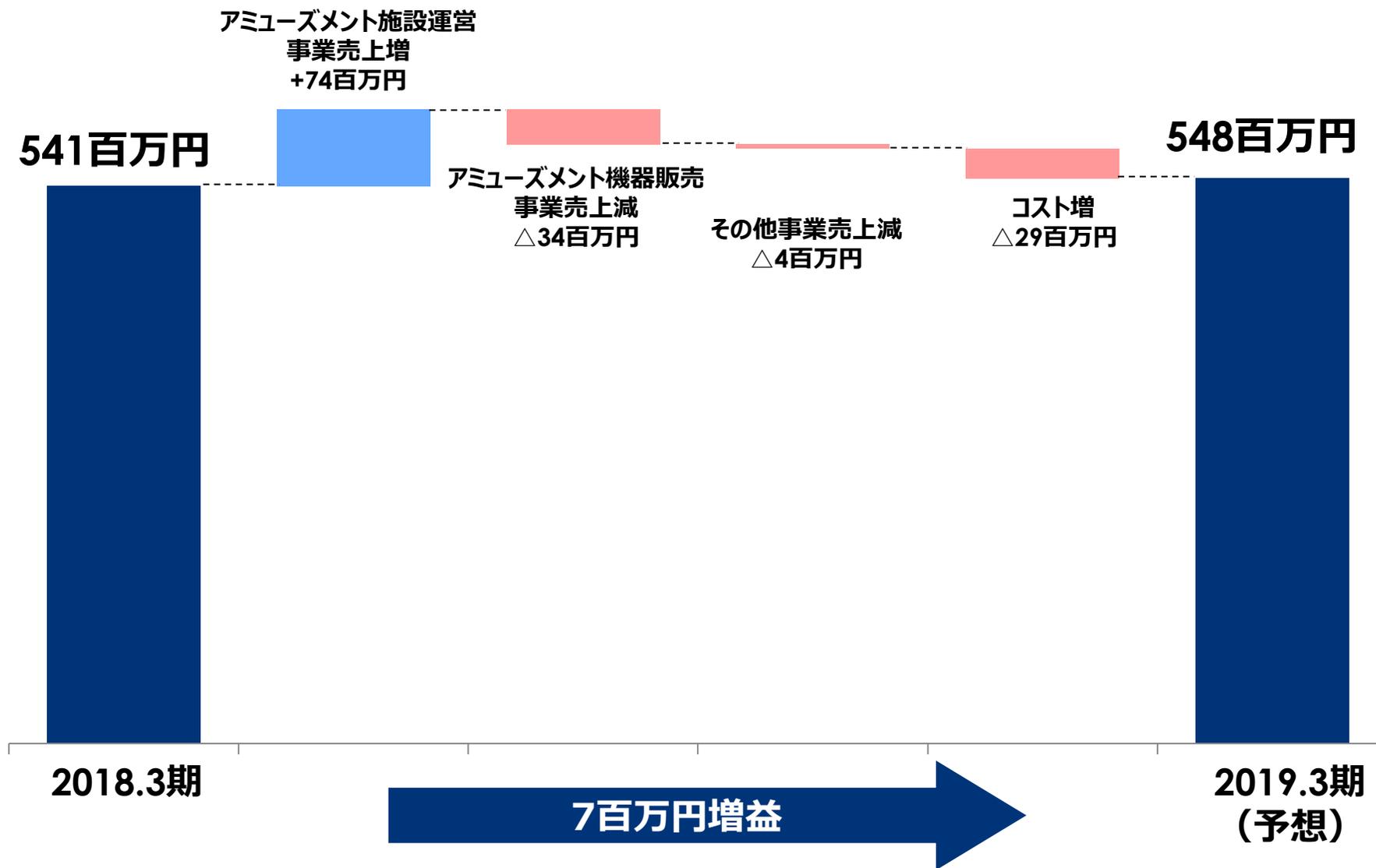
※当社は、2018年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
1株当たり指標は当該株式分割を考慮した額を記載しております。

2019年3月期 セグメント別業績予想

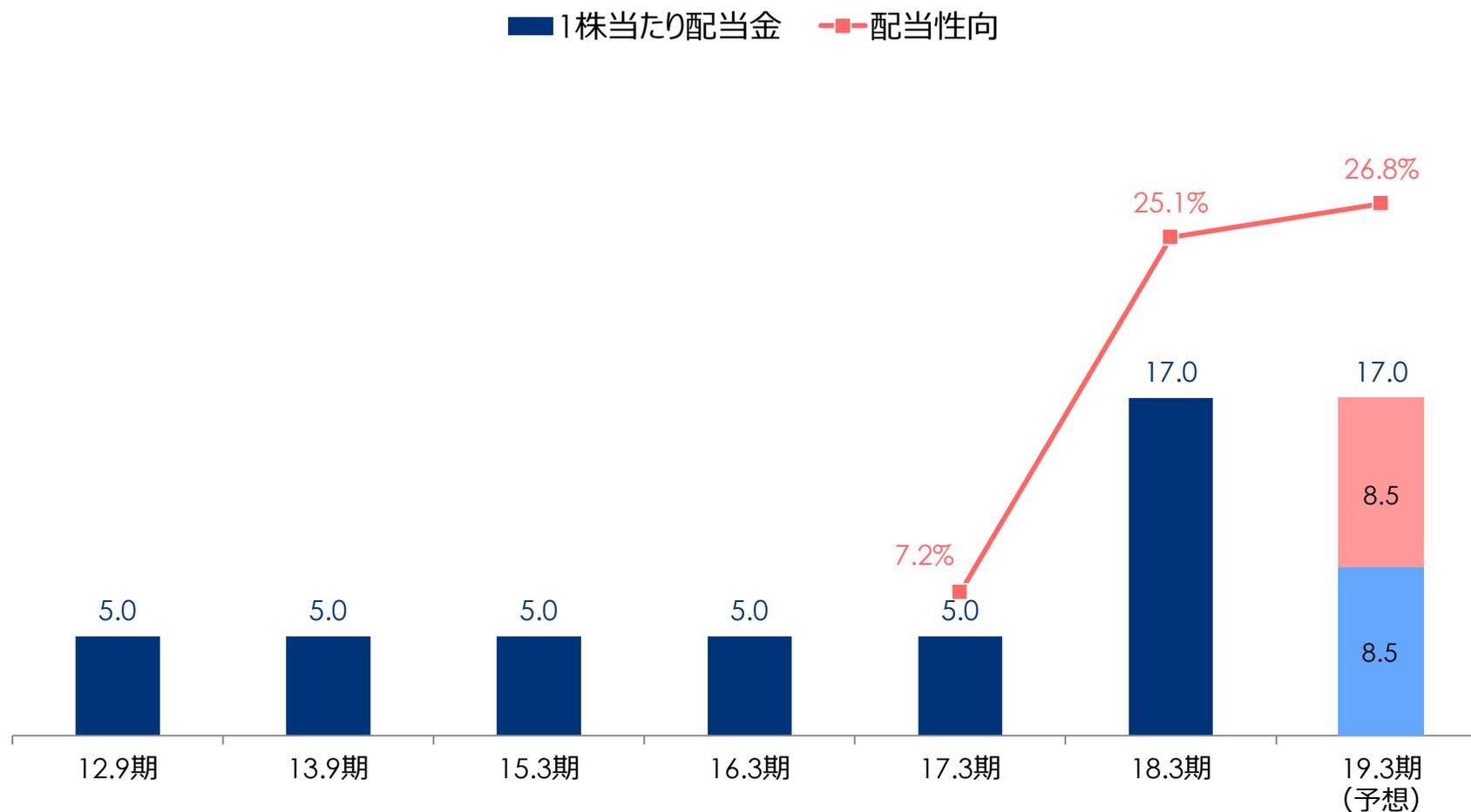
(百万円)

| | 2018.3期 実績 | 2019.3期 予想 | 前期比 | |
|--------------|---------------|---------------|-----|--------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 13,285 | 13,486 | 201 | 1.5% |
| アミューズメント施設運営 | 9,782 | 10,006 | 224 | 2.3% |
| アミューズメント機器販売 | 3,384 | 3,365 | △19 | △0.6% |
| その他 | 118 | 115 | △3 | △2.5% |
| 営業利益 | 541 | 548 | 7 | 1.2% |
| アミューズメント施設運営 | 1,061 | 1,134 | 73 | 6.9% |
| アミューズメント機器販売 | 135 | 98 | △37 | △27.4% |
| その他 | 9 | 1 | △8 | △88.9% |
| (調整) | △665 | △685 | △20 | 3.0% |

営業利益増減要因分析



- ◆ 株主に対する利益還元を経営の重要課題として位置づけ、利益に応じた適正な配当を行うことを基本方針としております。



※当社は、2018年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり指標は当該株式分割を考慮した額を記載しております。

IV. 参考資料



明るい、安心、三世代 をキーワードとした店づくり

明るい × 安心 × 三世代



👍 小さな子供も安心



👍 コミュニケーションが楽しめる



👍 色鮮やかで明るい雰囲気



👍 ガラス張りで入りやすい

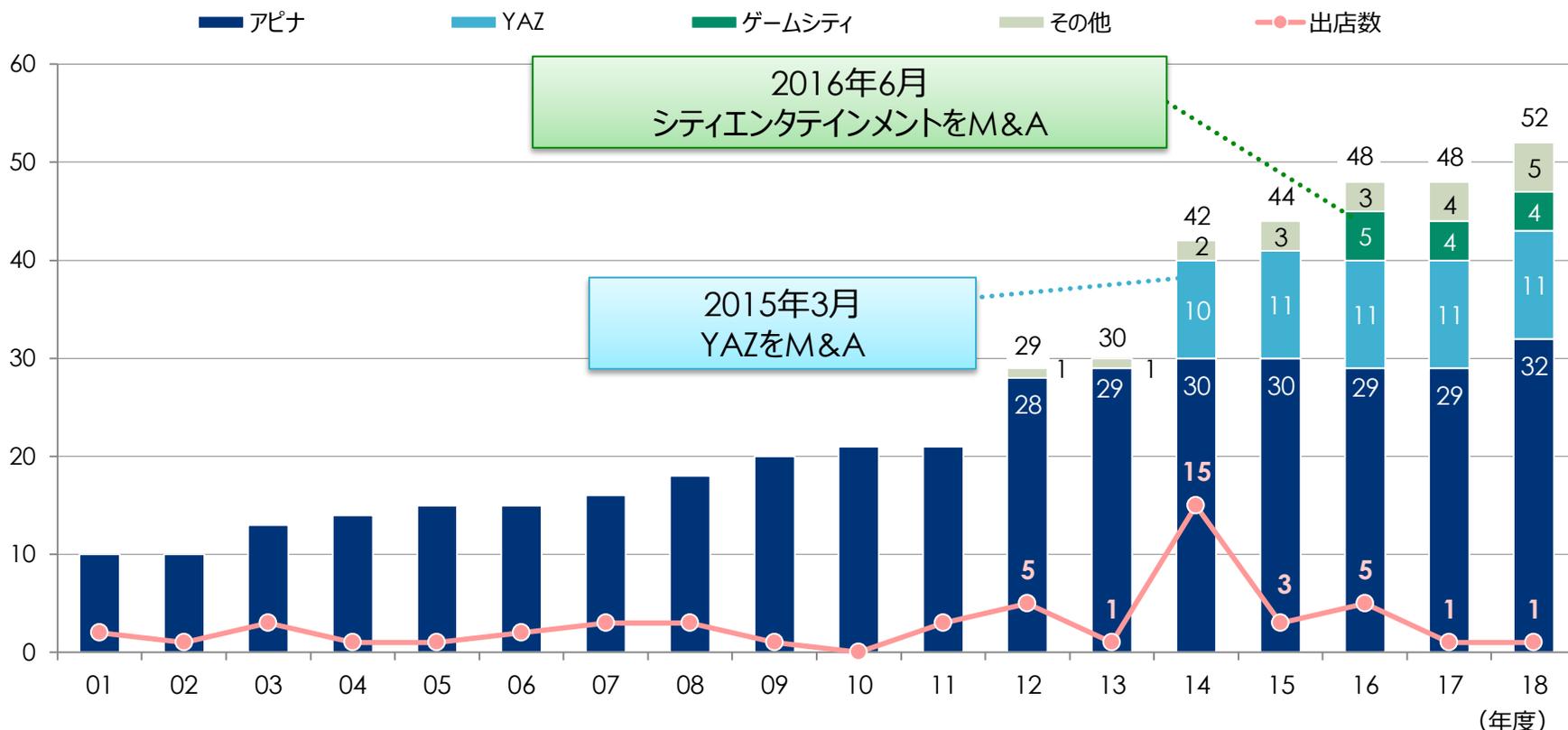


👍 幅広い顧客層

慎重な出店地の選定、M&A後の店舗再生など

持続的な成長を前提にした出店戦略

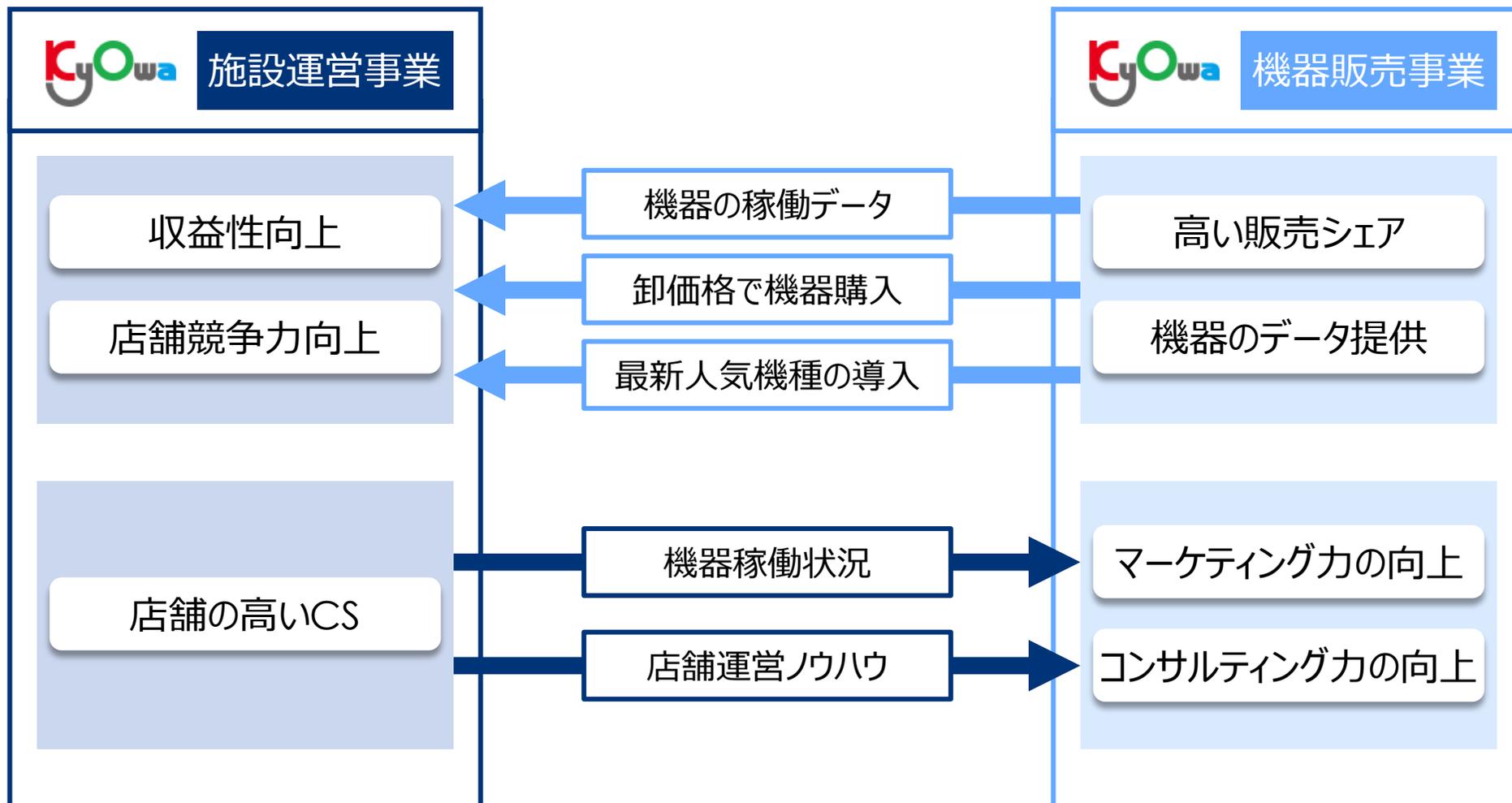
ブランド別店舗数・期中出店数



※14年度は決算期変更のため18ヵ月決算

* 18年度は2018年12月5日現在

施設運営業界で機器販売の**営業権を有する優位性**



漸減する市場環境の中、当社の売上高は順調に増加

